

# JAPAN TODAY

## 2021年 MONTHLY 4,5,6月号

ジャパン・ツディ編集部 村井実・編集長 ①160-0004 東京都新宿区四谷4の6の1 四谷サンハイツ1205号  
新聞は時代を映す鏡である！(ジャパン・ツディは全国47都道府県庁、地方自治体に配布しています)

# 財務局職員、公文書改ざんに追い込まれ自殺



**村井 実(むらい・みのる)**  
北海道日高村(現・日高町)番外地生まれ。昭和43年、早大卒。毎日新聞記者を経て昭和48年、時事通信記者。警視庁記者クラブを経て国会記者。田中角栄から自民党歴代首相を取材。その間、ロッキード事件、田中金脈事件、リクルート事件を担当。宮内庁記者。昭和63年米国スタンフォード大学フーパー研究所入所。米国大統領のフォード、カーター、ブッシュ、さらにケネディ一族や英国のエリザベス女王、サッチャー首相などインタビュー、単独会見。早大など3大学で教鞭をとる。「ジャパン・ツディ」編集長。

# 週刊文春の連続追及は ジャーナリズム魂

週刊文春(平成30年3月11日号)は次のように書き出している。3月7日、近畿財務局職員だった赤木俊夫さんが公文書改ざんの強制を告げて自殺した。その妻だった雅子さんが絶望の日記を初めて公開した。主要な部分を文春から引用しよう。

「森友学園に格安で売った国有地の取引をめぐる、財務省は公文書を不正に書き換えた。安倍首相当時(が)取引先に私や妻が関係していたら、総理大臣も国会議員もやめる」と国会で大見得を切ったが、文春に妻・安倍昭恵さんの名前が何力所もあったから、すべて書き換えて消した。「その不正行為を現場でやらされたのが赤木俊夫さんだ。改ざんに反対したのに、職場に見放され自分一人のせいになれる、と苦しみを抜いて自ら命を絶った」

「財務省・佐川宣寿理財局長(改ざん当時)が改ざんを指示した、と優夫さんの遺書に残されている」。

右の通り、佐川は安倍首相の意向を「忖度」した。北朝鮮の金正恩総書記の兄殺害と似ている赤木さんの自殺

このやり方は、かつて北朝鮮の金正恩総書記が腹中の実兄をクアラルンプールの飛行場で密使を使って殺害した手口にそっくり。

それが日本マスコミは通り一遍のモリ・トモ事件として赤木俊夫さん自殺で片付けているのは、日本のマスコミは文春のようには安部追及の手を止めてはならない。文春ががんばれ!

赤木さん自殺(自殺)は新しいニュースではないが、マスコミが執拗に追いかけるのがマスコミの使命でもある。

赤木さん自殺の前、赤木さんの上空で自衛隊のヘリ機が舞っていた、と民放テレビで放映していたが、これは赤木さん感動したのではないかと疑ってしまふ。

一番重要なことが最後にあったが、モリ・トモ問題

「菅義偉首相の長男が勤務する東北新社から財務省幹部が接待を受けていた問題で、同省が11人を処分した。」

各紙は25日付朝刊で紙面を大きく削いたが、一連の疑惑が浮上して、かなり時間がかかっているのに、同じことを書いている。

毎日「菅首相招くへ足元」政権運営が厳しくなるといっておなじみの話。

朝日は「接待の目的や広がり、行政への影響など、はつきりしない点が多いため」と情報番組のコメン

テーターが言いそうな記事を書いた。その隠された事実を明らかにするものが新聞の使命だろう(中略)

読売は衛星放送で使われる周波数に限りあり、総務省は割り当て再編と新規参入を進めていたこと、衛星運用会社に支払う利用料金の引き下げ問題が接待の背景にあるのではないかと書くだけで、先の政策の見通しを書いていない。(中略)

日経は総務省幹部の処分を報じた25日付朝刊まで4回にわたって「携帯値下げ攻防戦」という連載を載せた。書いてあるのは通信事業者の話ばかりで、不祥事の永田町や霞が関への影響は見事に避けている。取材不足か、政権への忖度か。」

× × ×

右の一連の総務省問題は、もし「文春」があばかなかったら何事もなく「記憶にございません」「知りません」で済まされた。これでは世間では新聞もテレビもいらない。文春だけが読んでいけばよい(笑)笑えない日本マスコミの現実である。(実)

リエール冠番組がスタート!

# 『リエールの未来へ TO GO!』

To Go...は、「お持ち帰り」の意。

明日へ、未来へ、皆様を元気に、役立つ情報を毎回違うテーマでお届けする番組。

毎週 月曜日 17:00~17:50 / 土曜日 15:00~15:50

●鳥越アズーリ FM 88.8 MHz <https://azzurri-fm.com/> (動画配信型FMインターネットラジオ番組)

パソコンやスマホから『鳥越アズーリ FM』または番組名で検索

全国!世界から!何処でも、誰でも、手軽に無料でご視聴頂ける番組です。

生放送日から2週間後より、YouTubeに放送分全番組がアーカイブ保存され、皆様に無期限で、無料で、繰り返しご視聴頂けます。

●番組スポンサー募集

月5万円~リエールの番組をご活用下さい。

↓リエール公式サイト <https://rieir.jp>



←ここから生放送をご視聴頂けます。



←アーカイブ再視聴一覧 [https://azzurri-fm.com/program/index.php?program\\_id=260](https://azzurri-fm.com/program/index.php?program_id=260)



お仕事のご依頼・各商品のお問合せは [info@rieir.jp](mailto:info@rieir.jp) 0120-047-870 オシナ ハナマル



MC: 柴田リエール



# コロナ禍は弾丸のない空気飛沫戦争

## 菅首相と

## 小池都知事の

## 後手後手の人災

昨年の年明け頃から世界中に「コロナ禍旋風」が吹き捲(まく)り、地球規模でみると今年2月9日現在、コロナ感染者1億6000万人、コロナ死者39万人。

今年1月26日(朝日)でみると世界のコロナ感染者トップ3は①米国2512万人(死者41万人)②インド、1066万人(同15万人)③ブラジル884万人(同21万人)日本国内だけに限ると、コロナ感染者40万人、コロナ死者6000人強(うち東京だけの死者1000人を越す)——となって日本人のコロナ死者は世界の中でも異常に少ない犠牲者で推移している。

昨年4月7日、日本は連日「緊急事態宣言」を出した。この日まで日本国内の感染者は5179人、死者109人。この時、日本にもやがてコロナ禍旋風がやってくる、と、咄嗟(とっさ)に反応した私は、昨年4月末に「コロナ禍は未知の世界の日本第3次戦争」とサブタイトルの見出しをつけて全国の主要な県庁、自治体に論文を郵送した。

これは自分で言うては笑われるが、「ジャーナリスト・村井の凄味」である。

不幸——日本が侵略した第2次世界大戦で日本人約310万人(うち民間人30万人)が死んだ。

10年前、福島県の東京電力原発を中心とした東北津波地震で1万8000人余死んだ。今も行方不明2000人余で合計7万人を越えたが、今のコロナ禍はインドレステープのように感染者死者は増加中だ。

世界の2つの大戦を経て私はサブ見出しに「コロナ禍から1年ものなるのに、コロナ禍戦争の恐怖を訴える社会になっていない」と他紙にも訴え、さらに昭和20年の敗戦以来、日本国民は極楽トンボで平和ボケた、とパンチのきいた活字を並べた。

私が「コロナ禍と戦争を同時に記したか」といつか「歴史に学ぶ」とか「歴史は繰り返す」という平凡なカンが働いたからです。日本には江戸時代前後も流行(はやり)の風があった。(はやり)の風はあった。

世界規模で流行風をつまんでみると、大正7年(1918)から大正9年(1922)にかけて猛威をふるったスペイン風(スペイン・インフルエンザ)で、世界人口の3~5%に当たる5000万人以上が死んだ。

このスペイン風は第1次世界大戦と重なり、戦争が終戦の要因ともなった。日本でも大正7年以降、当時本でも大正7年以降、当時本でも大正7年以降、当時本の人口5500万人のうち、約半数が感染して1物近くが死亡(これは大正12年に発生した関東大震災の死者10万人の5倍以上の犠牲)

そして、これは流行風ではないが、日本全体を巻きこんだ有史以来最大の

記者だが、上記の事件はほとんど「死者」を増大させるような問題ではなく、「政局」にまつわる権力闘争だから、また許される。

ところが、コロナ禍死は人命に関わり、人間の死は二度と再生することは無い。

それを証明するのは、私が昨年4月に発表した論文を讀むと明らかでしょう。首相と小池都知事コンビは、お互いに責任をなすりつけてキャッチボールして時間つぶしをしていた。

一方政府と都・小池知事が当初から「政局」にかまけていたことに、私はハラを立てているのです。

菅と小池は2人の会談を秘密にして、国民(報道機関)に成り行きをきちんと説明しない。「不透明」は許されない。この手法は安倍前首相、菅、小池に共通している。

おまけに政府と都庁は、国民に「三密」をとりまく強調して、中小企業の居酒屋などをいじめている半面、昨年の暮や新年には自民幹部は予想されたことだが、東京・銀座のクラブでの酒盛り、女盛り。国民、庶民の苦しんでいるコロナ禍はそっちのけ。

私の長い国会記者の経験から、自民党系の国会議員は口先だけのコロナ禍防止スピーチ。自分たち政治家は別格とみており、庶民のコロナ死は日常の頭の中にはない。今後も「三密」の政治家が高級クラブに限らず、あちこちで出沒して週刊誌のエサになる。

紙芝居のような4文字、熟語を毎日、テレビに書き添えて横文字を並べて平然。小池の心はコロナ禍の命よりもオリンピックに重点を置いている姿がすけて見え

この風景は小池の次の都知事選を意識した自己PRにすぎない。国民は、それを見破れないでいる。

9月12日には日本医師会の中川俊男会長らが「コロナ禍の入院先もなくなっている」と叫んでいるのに、首相も都知事も無視して今では燎原の火。

12月から今年に入って入院できずに「コロナ難民」となって自宅待機の死亡が統計に出ている。

その首、青島幸男・参院議員(後の都知事)は当時首相に向かって「あなたに財務の『男めかけ』だ」とブツブツ物をかました。が、この伝統は今も消えない。

菅は自分を首相にして、閣内閣外を神のようにながめたり、財界が進行に押す「GOTOラベル」にぐらつき選い「ゴースト」(これも失敗政策でコロナ患者急増)経済はかりにしがみつ

き、国民の命は次の次にされてきたという怒りは消えない。同じく小池も国民の命をあとまわしにして、菅と綱引きし、「コロナ禍は政府がやるべき仕事で、都は政府に従えよ」という逃げの手で他人事のように見える。小池にはスピード感が無い。コロナ禍とは急ぐ命の問題だ。

昨年4月の原稿でサブタイトルは「コロナ禍は第3次戦争」として、メインタイトルは「天皇が超法規で国民に協力を訴えるべし」と宮内庁にも投函した。

国民から信用されていない首相(支持率38%、不支持47%)毎日と小池は朝令暮改で国民の反応は良くない。

私は憲法を逸脱しても「天皇が自ら国民にコロナ防止に協力して国民団結せよ」と発言すれば、これほど国民を苦しめるメチャクチャな日本列島にならなかつたと思う。

最近、タイでも国王が自国にいる時が少ないなら、王室はいらない——とまで発言する政治団体まで現われて、王室体制反対運動が記されている。

日本だって永久に皇室が生き残るとは限らない。国民の命を守らない、日本民族を守らないような皇室は、国民から消されていく運命だ。ついでに。

私は右翼ではないが、私は後世の日本が心配だから直言しているのです。もし、あのコロナ禍が早くから防止できていたら、今からコロナ禍対策をやっていたら、これほどひどい地獄の日本にならなかつたと思う。

今の日本列島風潮は敗戦時の空気に変わらない。国民は略奪に迷っている。今だって66%がコロナ禍の出所わからず、コロナ禍のエンドが見えない。

10ヵ月たつてようやく、まともな記事が載った。

朝日のエンジン発射は遅かった。なぜ、もっと早く昨年春から、政府と都庁に赤信号を送らなかったのか。命を失ったコロナ死者たちは、日本の政治、行政の貧困を露の下でさらんでいる。

一方、世界銀行チーフエコノミストのカーメン・ラインハートさん(1955年生まれ、ハーバード大教授)の記事が朝日朝刊(本年2・5)に「世界経済破綻防衛には」のタイトルで、次のように中見出しをつけている。

「コロナ禍は『戦争』、金融危機を誘った今回の財政出動を——と、戦争と名がつけば国家の総力戦である。

右のことを政治家も財界人もジャーナリストも深刻に理解しないで、ズルズルと「令和戦争」に突入してしまつた。

コロナ禍は政治家の不手際、タイムインクの遅れと水盆に返らず。東京五輪の先は五里霧中。日本はどんなでもない戦争に巻き込まれているのに、国民はその重大性に気づいていない。

政治家もを朝上げにして、敗戦時の「1億総さんげ」ムードにそっくりさんだ!!

### 追伸・検証

私が昨年4月「コロナ禍は戦争」と断定した原稿は

令和3年(2021)2月15日 村井 実

# JAPAN TODAY

## 2021年 MONTHLY 4,5,6月号

ゆうちょ銀行 村井実 記号 19080 番号 16651271  
三菱UFJ銀行、札幌支店(普) 村井実 店番 637 口座番号 3844118

# 尖閣諸島にロボットのガンダムを!

## 廃炉事業に特化した国際災害救助隊基地

尖閣諸島は日中で何かと政治問題化して、今日まで複雑化してきた。そこで日本は尖閣でガンダムのロボット(高さ約18メートル、20メートル、手足指も動く)最近、横浜で高さ18メートルの歩くガンダム完成を寄贈救助隊の隊員とし、将来は日本のアニメ・ロボットを製作。その国に見合ったロボット(ドラえもん、鉄人28号、エヴァンゲリオンなど)を配置し、中国との関係でも平和とアジアの同盟国を巻き込むユーモアある外交力を発揮し、国際観光にも力を入れていく。

この民間組織「国際災害救助隊(アース・ヘルパー財団)基地の本部は廃炉事業に特化する。今の廃炉は大へん良い実験モデルであり、これを生かす。これから廃炉は全世界で次々と出てくる。炉の寿命は50年、60年。世界に何百基も存在している。下手な廃炉業者では世界が今のパンデミック以上のことになる。こうした観点から日本は廃炉に貢献できる。

また、日本の原発廃炉には現在4000人が従事している。さらに日本のロボット大会では5回目ではあるが、福島県の高専が優勝。福島の若者は地元を根付いて活躍している。(国から福島原発処理に多額の予算が出ているので、その一部の利用でもよし)今、日本の大学では、原子力に対する学生たちの期待と夢は3分の1に減っている。

国が年間、5000億円ぐらいの予算を付けて学生、若者を育てていけば、放射能に関わるロボット産業、さらに将来的には宇宙産業開発に対しても放射線(能)対策が重要だ。

当面、世界でも日本でも廃炉が重要問題です。地球温暖化の影響大。そこで地球を大たん征伐するには、わかりやすく言うと廃炉を地球の火口(ドクマ)の自然界に戻して深く埋めてしまおうです。

人間の知恵でロボットを利用して勝てば、かつてのチェルノブイリ(ソ連)のように原発が爆発して放射能が散って、周辺の自然界、人間が住めなくなるということも解決できるはず。それやれるのは日本人です!

# 誤魔化しが利かないコロナ死者数

## この国の崩壊かたがた 自体が崩壊する

検証・文芸春秋  
(令和3年2月号)

菅「敗戦処理内閣」の自爆(片山社) 慶大教授、政治学者は次のように語っている。

私たちは菅政権の「迷走ぶり」を毎日繰り返して見せられているわけですが、これからはますます何が悪い方向に向かう歴史的な局面に立ち会っているのではないかと、という嫌な予感がしています。(中略)

大げさなようですが、ひょっとして「この国のかたち」(日本の統治機構)それ自体が崩壊する過程ではないか。

こう思ってしまうのは、まず「安倍政権から菅政権への引き継ぎの仕方」、その「引き継ぎ」がもたらした真の原因を論議する「安倍政権」を感ずるからです。

安倍首相の辞任は、表面は「健康上の理由」と言われています。しかし、安倍政権末期の一連の経緯を見ていると、「コロナ危機を前にして、それまでのやり方が手詰まりになった。いわば「政権を放り出した」と思えてならない。

ここに言う安倍政権の「それまでのやり方」とは一言でいえば、平時の非常時化です。つまり、平時において、「非常時」を煽る。ありもしない「危機」を演じて、その危機から国民を守っているように見せかける。

現在を事実よりも深刻に見せて、未来に希望を先延ばしする。これが安倍政権の得意技でこれによって政権浮揚を図ってきたのです。

それほどの危機でないような時に「アラート」(ミサイル発射などに対する全国民同時警報システム)を鳴らして、「危機」を煽ってみたり、東京五輪や大阪万博を誘致して、未来に何か良いことがあるかのように見せる。それは一種の幻影にすぎません。しかし、そう疑われても、また次の幻影を見せればよい。

安倍政権は、こういう演出を一生懸命にやって延命してきました。ところが、コロナ危機で安倍政権は「本物の非常時」に直面した。(中略)

つまり、「コロナ」といってま目の前にある本物の危機「対処しなければならなくなりました。コロナという危機の実態は、具体的な数値となって表れます。

検査数に限界があると、言っても、「感染者数」の日々の推移はすぐに数値化されます。とくに「死者数」などは誤魔化しが利かない。

こうなると、目の前にある本物の危機を放置して、何か別の幻影で国民の目をそらすことができなくなりました。

こうした「本物の危機」に直面することで迷走し始めました。(以下略)

慶大の片山教授論文は、私はずいぶん「J・T(ジャパントップイデオロジ)の「アラート」の警し(政権の投げ出し)のコロナ禍の感染と死者のごまかし」を指摘してきたので、片山論文によって私の意見は間違っていないことを検証、証明した。

令和3年1月、アメリカの米大統領選で敗れたトランプ大統領は、デモ隊をラシントンの国会議事堂を包囲して6人が死した。

アメリカはこれまで世界の中の民主国家代表のモデルとされてきたのに、私はア然とした。

これは地球の民主主義の崩壊の途にあると感じた。これによって中国はアメリカに対して恐れるものなし。これから采中の緊迫の時代に入る。

「平和」は最も大切な「国防」もまた大切であり、車の両輪である。日本政府自らは日中緊迫をひと事のように語り、野党は黙して語らず、日本は平和かないものと思いついて、この日本の「うたら政治」は、どこへ流れていくのか。アメリカだけに頼る政治は危険である——と主張しているのは古くギリシャ作家の存に詳しい堀野七生(作家、在イタリア)氏である。これから「外交」で日本の真価が問われる。(R3.3.31、村井実)



尾野玲子

### 「火曜 / 歌謡クラブ」

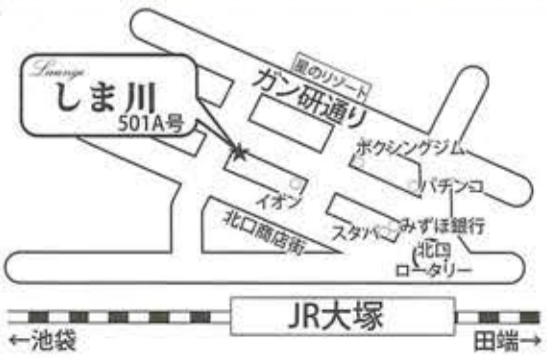
ご予約・お問合せ 尾野玲子 090-1858-2868

会場：ラウンジ「しま川」  
TEL 03-5944-5090  
豊島区北大塚2丁目12-7 北大塚12  
共同ビル501A号

OPEN：毎週火曜日 13:00 ~ 16:00

定員：8名(事前予約お願ひします)  
密を避けるため人数制限・アクリル板設置をしています。

入場料：お一人様 4,000円(カラオケ・飲み物・おつまみ 込み)



村井実・発行のジャパン・ツディはフリーペーパーですので昭和62年創刊以来、村井の私財で、これまで2,000万円以上投入してきました。しかし、近年のコロナ戦争が影響。私の私財も貧者の1灯でがんばっています。私のジャーナリスト精神に賛同される方、1カ月・1,000円から1万円の中で献金していただければ幸いです(実)